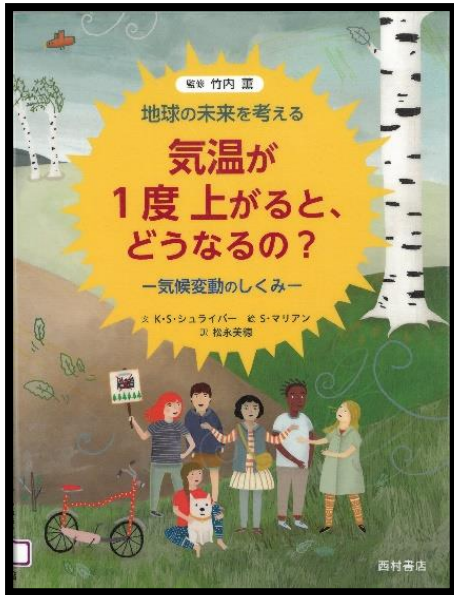
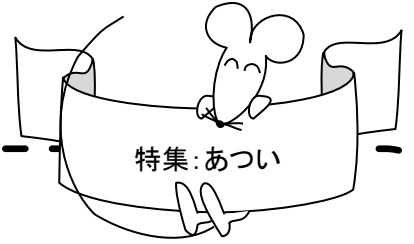


地球の未来を考える

気温が1度上がると、どうなるの？

—気候変動のしくみ—



K・S・シュライバー/文

S・マリアン/絵

竹内 薫/監修 松永 美穂/訳

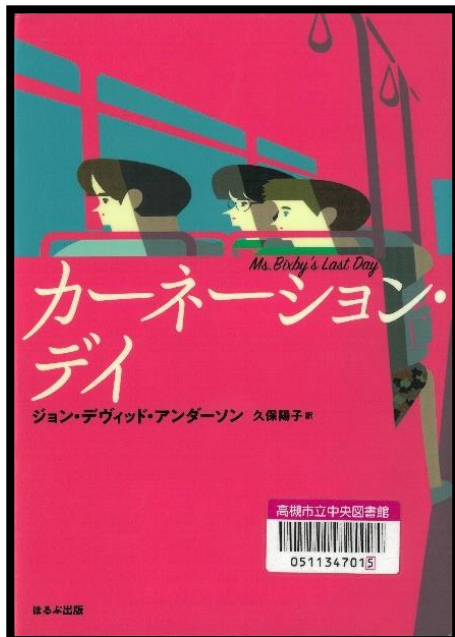
西村書店[519]

地球が生まれて約45億年。そのぼうだいな年月の直近150年で平均気温が1度上昇しました。すると何が起きるのでしょうか？

カラフルなイラストを用いて、天気と気候のちがいから、地球に気候帯や季節があるわけ、気候変動のしくみや温暖化の問題点まで、順序だてて説明してくれます。

わたしたちの行動すべてが、良くも悪くも地球環境に影響を与えています。温暖化を食い止めるために、1人1人ができることをやってみようと著者は呼びかけます。

カーネーション・デイ



ジョン・デヴィッド・アンダーソン/著

久保 陽子/訳

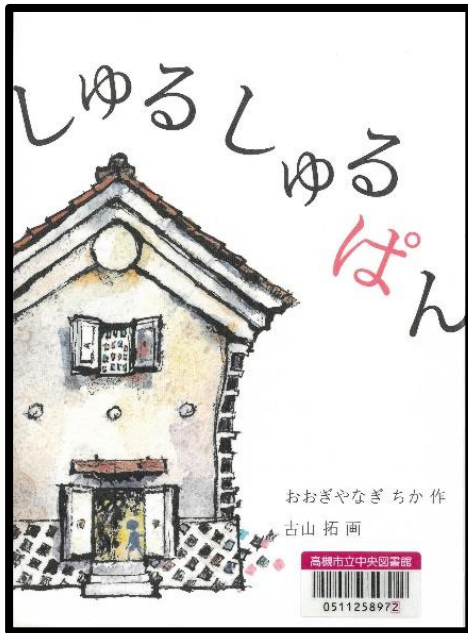
ほるぷ出版[933アン]

癌とたたかうピクスビー先生の「理想の最後の日」をかなえるため、三人の少年トファー、ブランド、スティーブは学校をサボって先生に会いに行く計画を実行します。ハプニングに見舞われながらも、三人は心の内にあるそれぞれの悩みと向き合います。

ちりばめられた数々の格言が響く爽快感たっぷりの本作は、アメリカで高い評価を受けました。

最後まで読み終えた時、あなたはもう一度最初のページに戻り、推理小説のように物語の答え合わせをしたくなるでしょう。

しゅるしゅるぱん

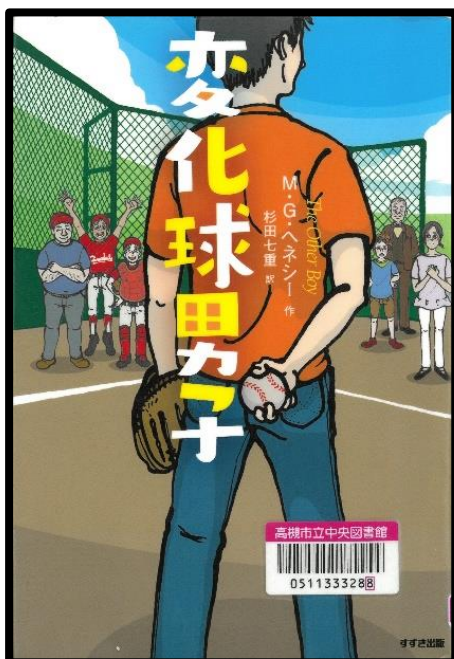


おおぎやなぎ ちか/作
ふるやま たく/画
福音館書店[913オオ]

6年生になる解人は、突然東京から岩手にある父親の田舎「朱瑠」へ引っ越すことになった。朱瑠に来てからきみようなことが続き、イライラする解人の前に、自分にしか姿が見えないふしぎな男の子が現れる。彼は自分のことを「しゅるしゅるぱん」と言い、解人のところを「きら」というだれかと間違える。

しゅるしゅるぱんとは、何かおかしいことがあった時に、山神様のしわざだと考えて、となえるおまじないの言葉です。ふしぎな男の子しゅるしゅるぱんの正体が、現在と過去を行き交いながら、明かされていきます。

変化球男子



M・G・ヘネシー/作
すぎた ななえ/訳
鈴木出版[933ヘネ]

シェーンは野球が上手な男の子。でも本当は心と脳は男の子、体は女の子。そのことで悩み、病院に通っている。母親は理解してくれているが、離れて暮らす父親は、娘が医療によって男性の身体になることを賛成していない。

ある日、女子の姿だった頃の写真が友人のメールに送られてきた。友人は「フォトショップで加工したものだろ」と言ったが、シェーンは本当のことを説明できなかった。

相手を理解しようと、助けてくれる仲間がいれば、辛いこともいつかは乗り越えられます。きっと、その先には明るい未来が待っているでしょう。